

七年に一度の盛儀

善光寺御開帳

平成27年4月5日(日)～5月31日(日)



善光寺御開帳奉賛会

期間中の

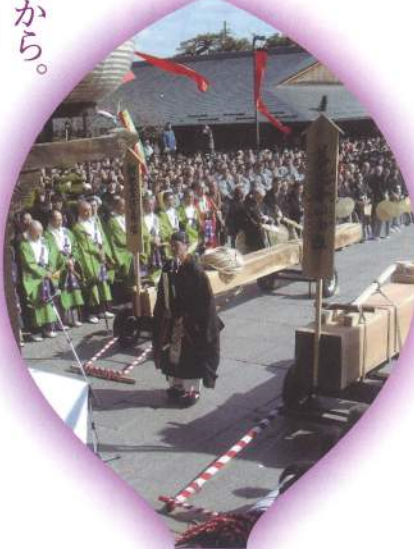
主な行事

え こうばしらうけ いれしき
回向柱受入式

三月二十九日(日)

奉納行列と共に、松代から。

御開帳期間中、本堂の前に立つ回向柱が松代から善光寺に寄進されます。



松代から寄進される回向柱

三百年余の歴史、脈々と今に。

宝永4(1707)年現本堂が再建された際、松代藩が幕府から普請の監督を任せられました。それが縁となり、現在まで三百年余にわたって松代から寄進されています。



奉納行列と共に、善光寺へ。

回向柱は、大名行列や姫行列と共に松代町を練り歩いた後、牛に引かれて善光寺にやってきます。途中引き綱に触ると御利益があるといわれ、沿道にはたくさんの人が詰めかけます。

柱に触れて如来さまと結縁。

回向柱は前立本尊の御手と「善の綱」によって結ばれ、柱に触れることで如来さまとの結縁が叶います。



え こうばしらこんりゅうしき
回向柱建立式

四月三日(金)

伝統の工法そのままに。

善光寺木遣りが響く中、古式ゆかしく回向柱が建立されます。



まえだちほんごせんざしき
前立本尊御遷座式

四月四日(土)

前立本尊を

御宝庫から本堂へ。

白装束に身を包んだ男たちが前立本尊(光三尊阿弥陀如来の)入った厨子を担ぎ、御宝庫から本堂へと運びます。本堂では一山住職がそれを担ぎ、内々陣へとお遷しします。



かいびやくだいほうよう
開闢大法要 四月五日(日)

いよいよ始まる、御開帳。

御開帳初日のお朝事で、秘仏となつている御本尊の分身・前立本尊の厨子が七年ぶりに開かれ、人々のどよめきの中、ありがたいお姿を参詣者の前に現します。



平成二十七年春
七年に一度の盛儀

善光寺御開帳

数え年で七年に一度、秘仏である御本尊の御身代わり「前立本尊」(鎌倉時代・重要文化財)を本堂にお迎えして行う「善光寺前立本尊御開帳」。仏都の春、御仏とのありがたい縁が生まれます。

そして午前10時から、善光寺を護持する天台宗、浄土宗それぞれの住職による開闢大法要が営まれ、御開帳が始まります。



『牛に引かれて
善光寺詣り』

善光寺にまつわる物語

昔、信濃国小諸に心の貧しいおばあさんが住んでいました。ある日、川で布を洗い干していると一頭の牛が現れ、角に布を引っかけて走り出しました。その牛を追いかけて、おばあさんがたどり着いたのが善光寺。日が暮れたお堂に入つてみると、光明に照らされた牛のよだれが「牛とのみ思い過ごすな仏の道に汝を導く己の心を」と読めました。すると、おばあさんはすつかり信心深い人間に生まれ変わりました。後日、近くの観音堂に詣でると、観音様の足元にあの布が。おばあさんは牛は仏様の化身と知り、ますます善光寺への信仰を深め、めでたく極楽往生をとげました。この仏様が小諸の布引観音といわれています。



中日庭儀大法要

四月二十五日(土) 天台宗
五月九日(土) 浄土宗

御開帳を彩る大法要。

お稚児さん先頭に、華麗な法衣をまとった住職の行列が進み、色とりどりの散華が舞う。天台宗、浄土宗それぞれが回向柱の前で執り行う、厳粛な中にも華やかさが漂う法要は御開帳のハイライトです。



篠ノ井大獅子奉納

五月十七日(日)

勇壮に舞う、大獅子。

長野市無形民俗文化財に指定される篠ノ井地区の2体の大獅子が表参道を練り歩き、山門前で勇壮な獅子舞を披露して御開帳を盛り上げます。



善光寺前立本尊

(重要文化財)



善光寺の御本尊「一光三尊(いっこうさんぞん)阿弥陀如来」は、ひとつの光背の中央に阿弥陀如来、向かって右に観音菩薩、左に勢至菩薩が並ぶ、善光寺独特のお姿をされています。白雉5(654)年以来の秘仏であり、鎌倉時代に御本尊の御身代わりとして「前立本尊」が造られました。普段は御宝庫に安置されていますが、数え年で七年に一度の御開帳の時だけ、特別にお姿を拝むことが出来ます。

第93回 仏都花まつり

五月五日(祝)

健やかにと願って。

お釈迦様のお誕生を祝い、子ども健やかな成長を願う「花まつり」。華やかな衣装に身を包んだお稚児さんたちのかわいらしさに、参詣者にも笑顔があふれます。



結願大法要 五月三十一日(日)

前立本尊御還座式 六月一日(月)

名残惜しく、扉閉まる。

57日間続いた御開帳が結願法要をもって終わりを告げます。そして同日午後5時、大勢の参詣者が見守る中、前立本尊の厨子の扉がゆつくりと閉じられます。翌日、前立本尊は白装束の男たちが担ぐ輿に載せられ、御宝庫にお還りになります。



写真提供:善光寺



法要時に撒かれる花を散華(さんげ)とよび、現在では蓮の花びらをかたどった色紙(いろがみ)が用いられます。

期間中の主な行事

3月	29日(日) 午後2時30分	本堂前	回向柱受入式	5月	5日(祝) 午前11時30分	忠霊殿前	第93回仏都花まつり(長野市仏教会)
	3日(金) 午後1時	本堂前	回向柱建立式		9日(土) 午前10時~午後2時	本堂前	中日庭儀大法要(浄土宗)
	4日(土) 午後3時	本堂	前立本尊御還座式		17日(日) 午後5時	山門前	篠ノ井大獅子奉納
4月	5日(日) 午前10時~12時	本堂	開闢大法要	27日(水) 午前11時	本堂	御開帳奉賛会大法要	
	11日(土) 午後2時~3時30分	本堂前	全国善光寺会お練り大法要	31日(日) 午前10時~12時	本堂	結願大法要	
	25日(土) 午前10時~午後2時	本堂前	中日庭儀大法要(天台宗)	6月	1日(月) 午後1時	本堂	前立本尊御還座式

※都合により、予告なく日程が変更になる場合があります。

善光寺表参道 発見と出会いのまち歩き

JR長野駅から善光寺まで続く善光寺表参道。昔と今が出会うまちをゆっくり歩き、門前の暮らしに触れてみませんか。

「日本一の門前町大縁日」

ながの縁を **ご縁つながる大縁日**で「毎日お祭り」
縁 善光寺御開帳に全国から訪れる善男善女を「おもてなし」と「にぎわいイベント」でお迎える「日本一の門前町大縁日」。JR長野駅善光寺口広場、TOiGO広場、表参道長野オリンピックメモリアルパーク(セントラルスクエア)などで、御開帳期間中、毎日さまざまなイベントが開かれます。



頼朝ゆかりの寺の大仏

善光寺を厚く支援したといわれる源頼朝ゆかりの古刹(こさつ)。境内の大仏堂には黄金に輝く大きな「出世大仏」(1799年建立)が鎮座しています。



善光寺七福神めぐり

善光寺表参道界隈にまつられている七福神をめぐるとまち歩きが人気です。専用の色紙(800円)に御朱印(各100円)をひとつずつ頂戴していき、最後に善光寺さんの御朱印(200円)をいだけば、さらに御利益がありそうです。

[御朱印が受けられる時間] 午前8時~午後4時

[専用色紙が購入できる場所] ● かるかや山西光寺、● 西宮神社、● 世尊院、● 長野市観光情報センター(● JR長野駅構内)

*巡拝において朱印が受けられない場合は、西光寺、世尊院、西宮神社で押印いたします。
 *ご自身で朱印を押していただく場所については、朱印代を賽銭箱へお入れください。

お問合せ 西宮神社
 TEL 026-235-6633



お申込み・お問合せ
 長野市善光寺表参道ガイド協会
 TEL 026-225-9911



蔵づくりの庭でひと息

善光寺門前の古い商家や蔵を再生し、レストランやショップが並ぶまちとしてにぎわう「ばていお大門」。おやきづくり体験や長野のお土産ショッピングも楽しめる。ぜひ訪れたいスポットのひとつです。



お寺で「絵解き」を体験しよう!

社寺の景観や伝説などを描いた「絵伝」を親しみやすい語り口で解説しています。西光寺のほか様々なお寺でも絵解きを行っています。



仏都長野の玄関口、装い新たに!

平成27年3月、長野から金沢への新幹線延伸に合わせて、JR長野駅が新たに生まれ変わります。長野の歴史と伝統を感じさせる玄関口で、皆さまをお迎えます!



善光寺土産・名物

善光寺宿坊でいただく精進料理、こだわりの店が軒を連ねる門前のそば店。粉もの料理が盛んな北信濃の郷土食おやき。江戸時代から続く七味唐辛子や味噌、地酒など老舗の味は土産に喜ばれることうけあいです。



01 小谷村

スノーシューで雪原を

ゴンドラとロープウェイで行く、標高約1,900mの柵池自然園は5月まで一面の大雪原が広がります。ガイドが園内を案内する「柵池自然園スノーシューハイク」は、スノーシューが初めてでも安心して雪山を楽しめます。



小谷村観光連盟 TEL0261-82-2233

07 小川村

最も美しい村・小川村

全国的に有名な郷土食「おやき」は村内各所で食べることができます。旬が入ったおやきはまた格別! いろいろな味のおいしいおやきと北アルプスの大パノラマ、満天の星たちがおもてなしします!



小川村観光協会 TEL026-269-2323

10 長野市 戸隠

七年に一度の式年大祭

宝光社の神様がご父神である中社の神様のもとに渡御され、約2週間のご同座を経てお還りになる、父子ご対面の神事です。<主な神事の日程:5月6日渡御(ときよ)の儀、5月10日柱松神事、5月24日還御(かんぎよ)>



戸隠観光案内所 TEL026-254-2888

02 白馬村

姫川源流・親海湿原

春の姫川源流一帯は、黄色いフクジュソウに埋め尽くされ、訪れる人を魅了する必見スポット。さらに隣接する親海湿原ではミツガシワやカキツバタが咲き、自然が織り成す風景を体感できます。



白馬村観光局 TEL0261-72-7100

08 長野市 鬼無里

水芭蕉と伝説の里

奥裾花自然園は樹齢400年のブナやトチの原生林に囲まれた湿原。81万株の水芭蕉の純白の花が4月下旬から咲き始め、5月下旬まで楽しむことができます。



鬼無里観光振興会 TEL026-256-3188

11 長野市 飯綱高原

木道を歩いて湿原散策

大座法師池から戸隠方面に続く信濃路自然遊歩道。入口に広がる大谷地湿原には春、ミズバショウ、ニリンソウ、リュウキンカなどが咲き競います。湿原を約30分ほどで一歩散策コースもおすすめです。



飯綱高原観光協会 TEL026-239-3185

03 安曇野市

残雪の北アルプスと水鏡

田植えが始まる頃、田んぼの水面に映る残雪の北アルプスの風景は、「水鏡」と呼ばれ安曇野の春の風物詩です。この時期限定で見られる「水鏡」はゴールデンウィークから5月下旬の風の弱い午前中がおすすめです。



(一社)安曇野市観光協会 TEL0263-82-3133

09 長野市 信州新町

アート&グルメの町

4月に開催される「ろうかく梅園花まつり」では、信州新町特産の梅の木の下で名物のジンギスカンを焼いて食べることができます。近くでは屋形船の遊覧も楽しめます。



信州新町観光協会 TEL026-262-2245

12 長野市 篠ノ井

花と恐竜が待ってるよ!

長野市篠ノ井の「茶白山自然植物園・恐竜公園」。春は原種チューリップやミツバツツジなどが咲き誇ります。25体の巨大な恐竜は子どもたちに大人気!

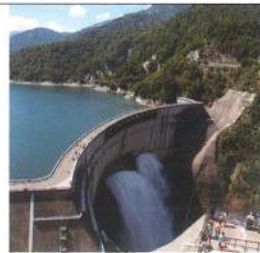


篠ノ井地区観光振興協議会 TEL026-285-0228

04 大町市

立山黒部アルペンルートへ!

国内有数の山岳観光ルート、立山黒部アルペンルートの玄関口、信濃大町。高瀬渓谷、仁科三湖、文化財や特色ある博物館など、見どころ、遊びどころがいっぱい。湯量豊富な温泉も多く、旅の疲れを癒してくれます。



大町市観光協会 TEL0261-22-0190

13 長野市 松代

回向柱奉納の地、松代へ

2016年に大河ドラマ「真田丸」の放映が決まり脚光を浴びる真田氏ゆかりの城下町、松代。4月中旬には「松代春まつり」を開催。桜と杏が咲き誇る、回向柱奉納の地“松代”を散策してみませんか。

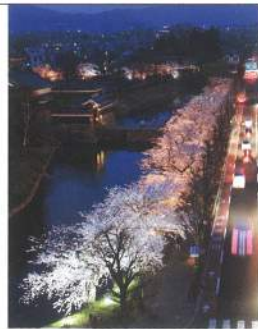


松代観光推進機構 TEL026-278-3366

05 松本市

桜並木、光の回廊

4月、松本城の桜開花宣言2日後から10日間、松本城外堀と女鳥羽川の桜並木がライトアップ。漆黒の松本城を囲んで美しい光の回廊が浮かび上がります。宣言3日後から8日間松本城本丸庭園が夜間無料開放され、お茶席も。



松本観光コンベンション協会 TEL0263-34-3295

14 坂城町

温泉と歴史を満喫!

びんぐしの里公園の中には、日帰り温泉施設「びんぐし湯さん館」があり、坂城駅周辺には鉄の展示館、坂木宿ふるさと歴史館など、町の歴史・文化にふれる施設があります。



ステキさかき観光協会 TEL0268-82-3111

06 千曲市

日本一のおんずの里

千曲市の森・倉科地区一帯は日本一のおんずの里として知られています。4月上旬から中旬にかけて、里一面がおんずの花の淡いピンク色に包まれ、その見事さは「一目十万本」といわれています。



千曲市観光協会 TEL026-275-1326

15 上越市

高田城百万人観桜会

園内に約4,000本のソメイヨシノが咲き誇る高田公園。約3,000個のぼんぼりに照らされて水面に映える桜の美しさは「日本三大夜桜」のひとつに数えられています。



(公社)上越観光コンベンション協会 TEL025-543-2777

21 飯山市

いちめんの菜の花畑

「菜の花畑に入り日暮れ」で始まる唱歌「おぼろ月夜」の情景が残り、千曲川と残雪抱く関田山脈を眺望することができる、菜の花公園。春の一大イベント「いいやま菜の花まつり」が5月3日～5日に開催されます。



信州いいやま観光局 TEL0269-62-3133

16 信濃町

残雪の黒姫山と春の花

4月下旬からリュウキンカやコブシ、オオヤマザクラ、5月中旬からは芝桜…。信濃町の少し遅い春の訪れに、残雪の黒姫山と春の花とのコラボレーションが楽しめます。



信濃町観光案内所 TEL026-255-3226

20 飯綱町

高坂林檎のシードル

飯綱町天然記念物の樹木に指定されている、高坂りんご。この木からとれた直径約5cm、重さ約50gの小ぶりな和りんごを使った発泡酒「高坂林檎のシードル」を開発しました。飯綱町推奨品です。



飯綱町役場産業観光課 TEL026-253-4765

北陸新幹線(長野-金沢間)
2015年3月開業

周辺ぶらり旅 ちょっと足をのばして

善光寺から少し足をのばして、爽やかな緑と風、咲き競う花々、豊穡の食文化と細やかな人情を体験する旅を楽しみませんか。御開帳の春、各市町村では祭りやイベント、特産品など盛りだくさんにお待ちしています。

17 塩尻市

ぶどうとワインの里

塩尻市桔梗ヶ原で栽培されるぶどうの評価は高く、醸造されたワインは世界のワインコンクールで優秀な成績をおさめています。市内に点在する「ぶどう園」や「ワイナリー」巡りも楽しめます。



塩尻市観光協会 TEL0263-54-2001

18 諏訪地方

神々が舞降りた地 諏訪

諏訪地域に鎮座し、国内最古の神社の一つとされる「諏訪大社」。寅と申の年に宝殿の新築と社殿の四隅の柱を建替える「式年造営御柱大祭」、通称「御柱祭」は次回、平成28年春に開催されます。



諏訪地方観光連盟 TEL0266-58-1123

19 伊那市

天下第一の桜

タカトウコヒガンザクラのやや小ぶりでも赤みを帯びた花の可憐さと約1,500本の樹林は県天然記念物の指定を受け、日本さくら会の「さくら名所百選」に選ばれています。高遠城址公園さくら祭りは4月1日から30日まで。



伊那市観光協会 TEL0265-78-4111



旅のおすすめは、
まだまだたくさん！
ここにご紹介した各市町村の
花情報、イベント、特産品などは
ほんの一例です。
詳しい情報やアクセスは
ホームページから
チェックしてください！
<http://www.gokaicho.com>

22 野沢温泉村

野沢温泉の春を満喫!

信州の北に位置する野沢温泉は、豊富な温泉と豊かな自然がいっぱいの信州を代表する観光地です。湯けむり漂うアットホームな温泉街で、のんびり湯めぐりを楽しみませんか。

野沢温泉観光協会 TEL0269-85-3155



28 奥信越観光協議会 栄村・津南町・十日町市

雪国の幻想的な春

日本の秘境・奥信越は世界有数の豪雪地帯。雪国の幻想的な春を、ローカル鉄道「飯山線」や国道117号を使い2時間ほどで楽しめます。津南町と栄村の秘境「秋山郷」、十日町市の残雪の「美人林」でフレッシュ!

奥信越観光協議会事務局
(十日町市観光交流課) TEL025-757-3100



23 木島平村

絶景温泉と幻の滝

馬曲川上流の山ふところに湧く、馬曲温泉望郷の湯。野天風呂からは四季折々の自然が楽しめます。木島平では5月8日、年2回しか姿を現さない幻の滝「樽滝」に出会えます。

木島平村観光協会 TEL0269-82-2800



29 山ノ内町

圧巻の雪の回廊と桜めぐり

冬期間、積雪のため通行止めとなる国道292号。志賀高原と草津温泉を結び、国道最高地点を通過するこの道路は毎年4月25日に開通します。町内には桜の見所も多く、志賀高原の麓、湯田中洪温泉郷では見頃を迎えます。

山ノ内町観光連盟 TEL0269-33-2138



24 中野市

ふるさと「故郷」のふるさと

中野市は唱歌「故郷」を歌詞した国文学者・高野辰之の生まれた地。市内にある高野辰之記念館周辺では、辰之が歌詞に込めた里山や田園風景に出会うことができます。

信州なかの観光協会 TEL0269-23-2211



30 草津温泉

「泉質主義」草津温泉

「草津よいとこ一度はおいで」の歌で名高い名湯、草津温泉。その歴史は古く、今でも根強い人気を誇ります。「泉質主義」草津温泉の優れた効能、豊富な湯量は訪れる人々を圧倒します。湯畑を中心とした温泉街には100以上の旅館・ホテルが軒を連ねています。

(一社)草津温泉観光協会 TEL0279-88-0800



平成27年春、熱の湯「湯もみと踊り」リニューアルオープン予定



25 小布施町

栗と北斎と花の町

晩年、葛飾北斎が多くの肉筆画を残した小布施。かつて献上品ともなった名産の栗は今も小布施の味覚として親しまれ、街角の花々は訪れた人を優しく迎えます。知・食・癒をお楽しみください。

小布施文化観光協会 TEL026-214-6300



31 上田市

信州上田おもてなし武将隊

2016年大河ドラマ「真田丸」放送決定! 400年の時空を超えて、真田幸村と十勇士が戦国の名城上田城に参上! 記念撮影や公園内を案内するぶらり散歩、歌と踊りの演武でおもてなしします。

上田市観光課 TEL0268-23-5408



34 嬭恋村

浅間山の麓に15万本!

浅間山の麓、東京ドーム10個分の広さに約15万本のしゃくなげが咲き誇る日本一のしゃくなげ園(石楠花)。園内はハイキングコースにもなっています。2015年の実施日程は5月15日(金)~6月7日(日)。

浅間高原観光協会 TEL0279-86-5077



26 高山村

満開のしだれ桜を見に行こう!

信州高山村は善光寺平の東辺に広がる山里で、春には「しだれ桜の里」として知られています。村には約20本のしだれ桜の大木・老木があり例年4月末ごろに見事な花を咲かせます。高山村の桜を堪能してはいかがでしょうか。

信州高山温泉郷観光協会 TEL026-242-1122



32 上田市 別所温泉

現世利益の北向観音

南向きの善光寺と北向観音は相対し、未来往生と現世利益、両方お参りする「両参り」が本当の参拝といわれています。片方だけでは「片参り」といわれています。

別所温泉観光協会 TEL0268-38-3510



35 小諸市

伝説は釈尊寺から!

伝説「牛に引かれて善光寺参り」の舞台で有名な釈尊寺。本尊を安置する岩屋の「宮殿」は鎌倉時代建造の重要文化財です。本堂前から望む枝垂れ桜と朱塗り・懸崖造りの観音堂が浅間山を背景に素晴らしい風景を見せます。

小諸市観光協会 TEL0267-22-1234



27 須坂市

善光寺御開帳記念展示

製糸業で隆盛を極めた須坂。須坂クラシック美術館では善光寺御開帳にあわせて、「お上人さまが愛した品々展」を開催します。[開催:2015年3月14日(土)~5月31日(日)]

須坂市観光協会 TEL026-215-2225



33 佐久市

佐久市の一大イベント

佐久の空を色とりどりの熱気球でうめつきます。「子どもたちに感動を!」をメインテーマに、熱気球搭乗体験や親子で楽しめる「佐久バルーンフェスティバル」がGW期間中に開かれます。佐久鯉まつりも同時に開催します。

佐久市観光協会 TEL0267-62-3285



36 軽井沢町

ようこそ緑の軽井沢へ

若葉祭り開催中の軽井沢はイベントが盛りだくさん。駅からハイキングや、芽吹きの軽井沢をガイドと一緒に歩きませんか。詳しくはホームページをご覧ください。

軽井沢観光協会 TEL0267-41-3850



期間中の

主な行事

回向柱受入式

三月二十九日(日)

奉納行列と共に、松代から。

御開帳期間中、本堂の前に立つ回向柱が松代から善光寺に寄進されます。



松代から寄進される回向柱

三百年余の歴史、脈々と今に。

宝永4(1707)年現本堂が再建された際、松代藩が幕府から普請の監督を任されました。それが縁となり、現在まで三百年余にわたって松代から寄進されています。



奉納行列と共に、善光寺へ。



回向柱は、大名行列や姫行列と共に松代町を練り歩いた後、牛に引かれて善光寺にやってきます。途中引き綱に触ると御利益があるといわれ、沿道にはたくさんの人が詰めかけます。

柱に触れて如来さまと結縁。



回向柱は前立本尊の御手と「善の綱」によって結ばれ、柱に触れることで如来さまとの結縁が叶います。

回向柱建立式

四月三日(金)

伝統の工法そのままに。

善光寺木遣りが響く中、古式ゆかしく回向柱が建立されます。



前立本尊御遷座式

四月四日(土)

前立本尊を

御宝庫から本堂へ。

白装束に身を包んだ男たちが前立本尊(一光三尊阿弥陀如来の入った厨子)を担ぎ、御宝庫から本堂へと運びます。本堂では一山住職がそれを担ぎ、内々陣へとお遷しします。



開闢大法要 四月五日(日)

いよいよ始まる、御開帳。

御開帳初日のお朝事で、秘仏となつている御本尊の分身・前立本尊の厨子が七年ぶりに開かれ、人々のどよめきの中、ありがたいお姿を参詣者の前に現します。



そして午前10時から、善光寺を護持する天台宗、浄土宗それぞれの住職による開闢大法要が営まれ、御開帳が始まります。



善光寺御開帳

数え年で七年に一度、秘仏である御本尊の御身代わり「前立本尊」(鎌倉時代・重要文化財)を本堂にお迎えして行う「善光寺前立本尊御開帳」。仏都の春、御仏とのありがたい「縁」が生まれます。

善光寺にまつわる物語

『牛に引かれて 善光寺詣り』

昔、信濃国小諸に心の貧しいおばあさんが住んでいました。ある日、川で布を洗い干していると一頭の牛が現れ、角に布を引つけて走り出しました。その牛を追いかけて、おばあさんがたどり着いたのが善光寺。日が暮れたお堂に入つてみると、光明に照らされた牛のよだれが「牛とのみ思い過ごすな仏の道に汝を導く己の心を」と読めました。すると、おばあさんはすっかり信心深い人間に生まれ変わりました。後日、近くの観音堂に詣でると、観音様の足元にあの布が。おばあさんは牛は仏様の化身と知り、ますます善光寺への信仰を深め、めでたく極楽往生を遂げました。この仏様が小諸の布引観音といわれています。

